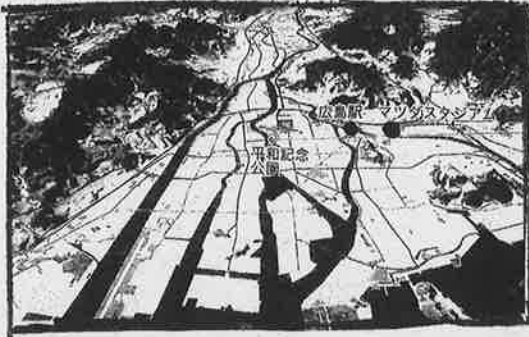


ヒロシマに一番電車が走った



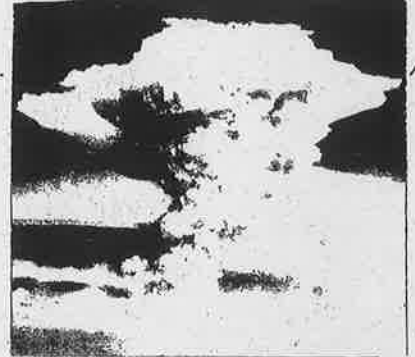
戦地に召集された男たちに代わり、広島路面電車は10代の少女たちが動かしていた。

15歳の春川弥生は、朝の車掌業務に就く際に被爆、最愛の母と大勢の仲間を失い悲嘆に暮れる。しかし、被爆からわずか3日後、廃墟の中を弥生の乗った電車が警笛を高らかに鳴らして走り始めた。



1945、8、6

8時
15分



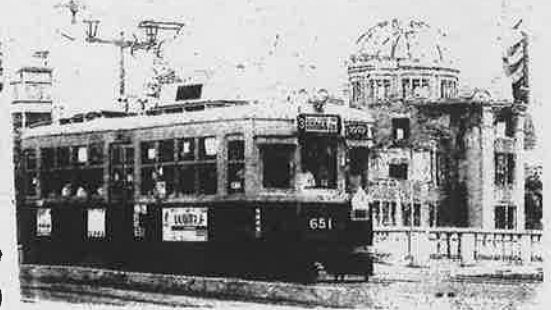
1万7000mのぼった原子雲

()の地形を生かした()の町、広島



原爆ドームの前あたりの町なみ
(川のほとりにも、建物がなんでいる)

市電は、今も→
広島市を走る



①、なぜ少女たちは、8月9日に、廃墟の町で、市電を走らせようとしたのでしょうか、

②、市電からヒロシマの町を見た少女たちは、どう思っていたでしょう、

③、広島で市電に乗った時、あなたは、どう感じたらよいと思いますか、



3年 組 番